

校 訓 明 創 勤 朗 造 労

# ちくさ川

第 16 号 2023年 8 月 編集 校長 勝谷英策

学校教育目標

「志」高く、学 ぶ意 欲と思 いやりの心 が充 ちる生 徒 の育 成 ~夢の実現に向かって、明るく、やさしく、誠実に行動~

### いい夏休みでしたか?

40日間、みなさんはどう過ごしましたか?

3年生は、部活動も一段落。オープン・ハイスクールや夏季講習など、進路選択、受験準備に向けて

忙しくなってきたと思います。I・2年生は部活と夏休みの課題に追われたのではないでしょうか。遊び、勉強、旅行、手伝いなど夏休みにやろうと思っ



たことができていたら (わくわく理科実験教室 8/8)

いいですね。地域の行事に参加してくれた人達もいました。 (友生地区主港のコビい 8/20)

計画しても、 できたこと、で きなかったこと、 やらなかったこ とがあるもので す。やらないと



いけないとわかっていても、先延ばししてしまったこともあったと思います。今回は「先延ばし」についてお話しします。

まず、はじめに、知っておくべき事があります。

「やりたいこと」、「やるべきこと」、「やった方がいいこと」の**すべてをやりきることはできない**ということです。時間と能力には限りがあります。

ですから、必ずやり残しが出るということを頭に置いておきましょう。

やることを決めた後は、優先順位を付けて取りか

かるだけです。

そうは言っても、うまくいかないことが起こります。 たとえば、読書感想文を書くと決めたとします。

ところが、感想文を書こうと思ったはずなのに、机 の上を片付け始めたり、読む本を探し始めたりして、 一文字も書かずにやめてしまい、8月31日になって しまう。それが、「先延ばし」です。

ある研究では、「先延ばしとは、能力が無いのではなく、力不足・経験不足の自分を認めたくなくて、逃げている状態」のことだとありました。

机の上が散らかっているとか、書くのが苦手とか、 才能が無いとか、面倒くさいなどといろいろな理由 をつけますが、書こうと思ってやり始めると、うまく書 けない、何を書けばいいか言葉が浮かばないなど、 練習不足、力不足の自分に出会う(認める)のが嫌 で、そこから逃げているというのです。

プロの作家でも料理人でも、最初はみんな下手 くそです。でも、何度もやっているうちに上手にでき るようになっていきます。<u>できる人とは、逃げずに</u> そんな自分を認めて、練習を重ねてきた人なの です。だったら、「先延ばし」を少しでも無くす方法は、 下手でいいからやってみることですね。

「下手だし、間違いあるし、ボロボロだけど、自分 でやってみました」ってカッコいいと思いませんか。

私はそんな人、嫌いじゃないです。

# PTA 美化作業 ありがとうございました!

8/19は、朝からたくさんの方に参加いただき、大変暑い中、除草作業をしていただきました。おかげさまで、グラウンドも土手もきれいになりました。

本当にありがとうございました。

お盆前に学校職員と自治会長さんにも手伝って

いただいて、グラウンド に除草剤を散布してい ましたが、草も手強くて、 すぐ新しい芽を伸ばして きました。…(T\_T)



(グラウンドの除草作業)

## 部活動、「新チーム」の成長に期待!

夏休み、2年生がチームを率いて本格的な活動が始まりました。この期間のチームづくり(雰囲気、仲間づくり、目標設定等)はとても大切です。

チームとして何を目指すかが最重要事項です。

スポーツですから、チームとして、個人として、勝つことを目標にする場合が多いです。それは、勝敗や結果(記録)をみると、どれくらい成長したのかがひと目でわかります。でも、試合成績や記録だけでは判断できないことも、たくさんあります。

「何のために活動するのか」、「充実感や達成感はあるか」など、自分自身が満足できるものかどうかは、勝敗だけではわかりません。何で判断するか考えなければいけません。

順位や周囲の人から褒められることだけが判断 基準では、何のために活動しているのかわからなく なってしまいます。

選手や監督のインタビューで、「みなさんの応援 があったから」、「たくさんの方に支えていただいた おかげで」という言葉を聞くことがあると思います。

優勝や金メダルを目指すことですら、手段に過ぎないのです。「勝つことで、何を達成したいのか?」 というもっと先を目指しているのです。私がチームづくりをする時に意識していたことを2つ紹介します。

◎ひとつは、勝つために、今の自分ではできないこと、やったことがないこと、大変なこと、難しいことに取り組むことで、自分を次のステージへ進化させることです。成長、挑戦、努力、忍耐、信頼、誠実、勇気など、目標にするものがたくさんありますが、自分が伸ばしたいこと、そのために取り組むことを具体的に決めていきます。

◎もうひとつは、「金メダルを取って日本を元気にしたい」、「世界で活躍することで東北のみなさんに元気を取り戻してもらいたい」など、自分たちの目標が、他の人や、みんなの利益や幸せにつながっていることを目標にして取り組むことです。

自分たちが達成することで誰かの役に立てることを考えます。自分だけのためだと、すぐに諦めてしまうことも、誰かのため、誰かと一緒なら頑張れることがあります。これも目標を立てる時のポイントです。

今年の夏も日本中で、そんなことを考えてチーム づくりを始めている学校、部活動、個人が、たくさん あると思います。

#### 部活動の記録

【全日本卓球選手権カデット西播地区予選会】

<u>2年 シングルス</u> 3位 橋本花鈴

(7/22)

【赤穂市カデット卓球大会】(8/28)

2年 シングルス

2年 ダブルス

I位 橋本花鈴

I位 橋本·佐々木 ペア

2位 柳 志歩

|年 シングルス

I位 村上結心花

【WSP 杯ソフトテニス大会】(8/24)

I位 柳原·久須 ペア





#### 9月の行事予定

1日(金)2学期始業式

4日(月)課題テスト、給食開始

6日(水)身体測定(~8日)

14日(木)体育祭予行

16日(土)体育祭

18日(月)敬老の日

19日(火)振替休業日

23日(土)秋分の日、市新人大会

27日(水)交通安全キャンペーン

29日(金)英語検定